平成 30 年度入試　個別学力試験問題
総合問題出題意図《後期日程：法文学部　法経学科》

1

問１　基本的な漢字の認識度をはかることを意図した。
問２　漢字熟語の意味の理解（知識がなくとも文脈から正しい意味を推量する）をはかることを意図した。
問３　抽象的表現「節度あるオルタナティブ（選択肢)」の具体的な意味の理解をはかることを意図した。
問４　問題文の趣旨であるイギリス独立党勝利の理由の理解度をはかることを意図した。
問５　文章全体を通して随所に述べられている「置去りにされた人々」の特徴を適切に拾い上げる理解力とともに、要点を簡潔にまとめる文章力をはかることを意図した。

2

問１　女性の年齢階層別就業率の推移や女性の都道府県別就業率データの推移などから、女性の就業率の変化や地域的特徴などを正確に読み取ることができるかを問うた。
問２　「女性が職業を持つことに対する意識の変化」を男女別に時系列でみたデータから、男女間でどのような意識の変化が見られたか、また、それを限られた字数で的確に表現できる文章能力を問うた。

3

OECD26 カ国（1 人あたり GDP が 3 万ドル以上の国）各国の所得格差の状況を示す 2 つのグラフをもとに、データが示す事実を的確に読み取り、それを論理的に説明する力があるかどうかを問うた。